

分類名 [水稲]

## 水稲中期除草剤による雑草防除

古川農業試験場

### 1 取り上げた理由

水稲中期除草剤について検討した結果、実用性が認められたので参考資料とする。

### 2 参考資料

#### 1) 有効成分及び薬剤名等

シメトリン・ベンチオカーブ・MCPB粒剤（商品名：クミショットSM1キロ粒剤）

1.5, 10.0, 0.8% 性状：淡灰色細粒 毒性：人畜毒性 普通物，魚毒性 B類

対象雑草名 一年生雑草：ノビエ，タマガヤツリ，コナギ，広葉雑草

多年生雑草：マツバイ，ホタルイ，ヘラオモダカ，ミズガヤツリ，ウリカワ

その他：アオミドロ，藻類による表層剥離

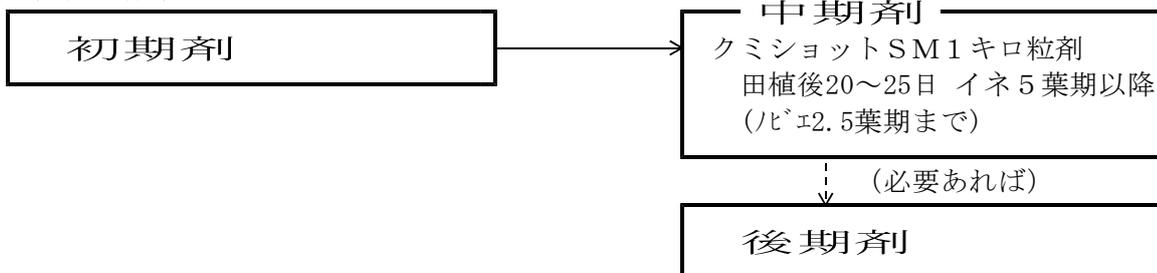
#### 2) 使用方法

使用時期・回数：田植後20～25日（ノビエ2.5葉期まで，但し初期除草剤との体系で使用）に1回

使用量：10a当たり1kg

散布方法：湛水のまま田面に均一に散布し，少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち，落水，かけ流しはしない。

#### 3) 防除体系



### 3 利活用の留意点

1) 移植前後の初期除草剤との体系で使用する。多年生雑草の効果を安定させるため必ず適期に散布する。

2) イネ5葉期以降で使用する。

3) その他シメトリン・MCPBを含有する中期剤に準ずる。

4) ベンチオカーブを含む農薬と連用しない。

5) 水産動物に影響があるので，養魚田では使用しない。

6) 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。

（問い合わせ先：古川農業試験場栽培部 電話 0229-26-5106）

#### 4 背景となった主要な試験研究

##### 1) 研究課題名及び研究期間

- a 除草剤・生育調節剤及び新資材に関する試験 平成9年 古川農業試験場
- b 農薬展示試験（除草剤） 平成11年 小牛田地域農業改良普及センター，植防協

##### 2) 参考データ

表1 使用方法と除草効果及び水稻への影響

試験名 (除草剤名)	試験場所	年度	田植後の 処理時期	処理量 (/10a)	除草効果 <sup>3)</sup>		水稻への影響
					一年生雑草	多年生雑草	
KUH-962-1kg粒 (クミショットSM1キロ粒剤)	古川農業試験場	平9	(+3) <sup>1)</sup> → +20, +25, +30 <sup>2)</sup>	1,000g	極大	極大	無

注1) 前処理は，ソルネット1キロ粒剤を使用した。

注2) 処理時のノビエは，処理時期順に，1.0L, 2.0L, 2.5Lである。

注3) 除草効果：残草率 極大10%以下，大11~20%，中21~40%，小41~60%。

表2 平成11年度農薬展示試験（除草剤）成績

除草剤名	試験実施普及センター成績			備考 (対照薬剤)
	小牛田	植防協	植防協	
クミショットSM1キロ粒剤	上段)注 +21 中段) 1~1.5 下段) A	+31 1~1.5 A	+29 1~1.5 A	マメットSM 1キロ粒剤

注) 各欄の数字の見方  
 上段：田植後処理時期(+日)  
 中段：処理時のノビエ葉齢(前：発生前，始：発生始，-：未発生)  
 下段：総合評価(A：普及上問題なし，B：更に検討したい。)

植防協の試験圃場は，迫町・瀬峰町に設置。

各区ともソルネット1キロ粒剤との体系処理(+4~5)。

##### 3) 発表論文等

平成12年度県防除基準

平成12年度県稲作指導指針

参考価格：クミショットSM1キロ粒剤 1,600円(1kg)